

LIFE IN THE BOXES

2021.07.17 Sat - 07.25 Sun (CLOSE : 19,20,21)

東静岡アート & スポーツ / ヒロバ
10:00 - 17:00
観覧無料

Art@^{ヒロバ}東静岡

Vol.2

LIFE IN THE BOXES



〈Life in the Boxes vol.2〉 占部史人 Fumito Urabe
〈防波堤の長さについて〉 福宮杏悟 Kyogo Fukumiya

本展は、「めぐりアート静岡」のヒロバ会場を継ぐプロジェクト、「Art@^{ヒロバ}東静岡」の第1回企画展です。
ヒロバにある大小二つのコンテナを占部史人が「箱」の作品として制作。
コンテナの中では福宮杏悟の個展を開催。

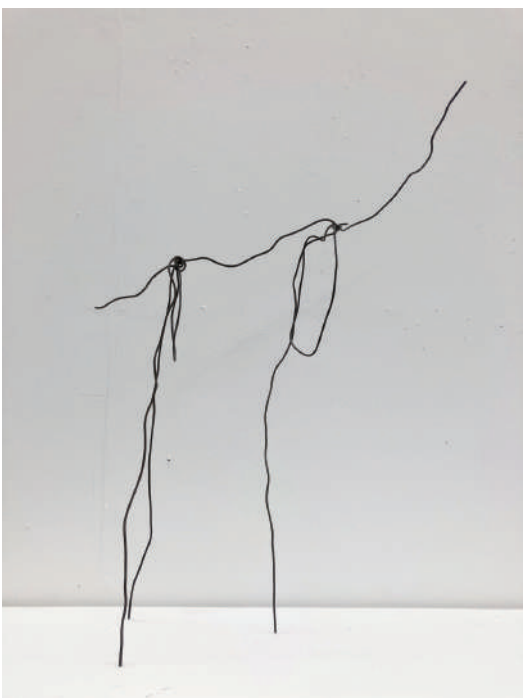
LIFE IN THE BOXES

占部史人の『箱の生活 “Life in the Boxes”』は、昨年の「めぐりアート静岡 2020」、東静岡アート&スポーツ/ヒロバでの個展と壁画制作から始まりました。新型コロナウイルスの感染拡大によって部屋にこもらざるを得ない日々に着想したようです。自粛生活のなかで占部は、自身を見つめなおし、あらためて大切なものについて思いをめぐらせたとのこと。そしてその気持ちをカタチにするために、これまで作った作品に一つずつ箱を作り、納めてゆきました。消費社会の中で、箱はパッケージとして無数に生産され、捨てられてしまいます。占部はそんな空き箱に、様々な来歴の紙切れを貼りつけ、絵を重ねることで、それらをかけがえのない事物に変容させます。「作品のための箱」は「箱の作品」であり、大小様々な箱は来場者との出会いによって、また新たな物語を生み出してゆくことでしょう。

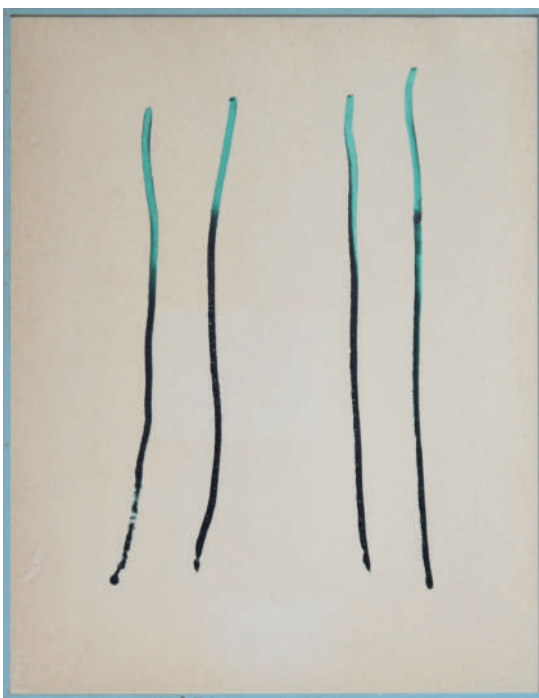
福宮杏悟 Kyogo Fukumiya

防波堤の長さについて

“Breakwater” — Part of Horizon —



《クララ》2021



《あし》2021



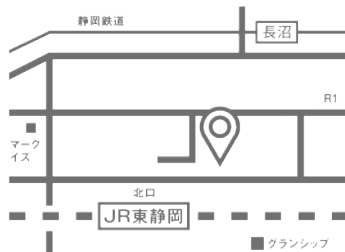
《風土》2021
《ゆりかご》2021

穏やかな波が寄せる浅瀬、光にきらめく水の色、防波堤に腰を下ろしたときのごつごつとした感触。福宮は幼い頃に慣れ親しんだ故郷の景色や、さまざまな生命に向き合った体験を「手」探りで思考し、記憶の結晶を形づくります。危ういバランスでしなやかに佇む針金の四足動物、そしてまた偶然指で成形された粘土の凹みは生きものを育む住処なのでしょうか。それらは、渚に打ち上げられた大自然の欠片に似て、意識の余白の中でひっそりと微光を放つかのようです。

● **アーティストトーク** 7月24日(土) 13:30～ ※雨天順延 7月25日(日)
東静岡アート&スポーツ/ヒロバ コンテナギャラリー一前

『Life in the Boxes vol.2』 /
『防波堤の長さについて “Breakwater” — Part of Horizon —』
《開催期間》2021.07.17 Sat - 07.25 Sun ※CLOSE: 19,20,21
《開場時間》10:00 - 17:00
《観覧料》無料
《場所》東静岡アート&スポーツ/ヒロバ
《主催》東静岡アート&スポーツ/ヒロバ実行委員会
《企画・運営・問い合わせ》公益財団法人静岡市文化振興財団
(054-255-4746 平日 8:30~17:30)

● 東静岡アート&スポーツ/ヒロバ 静岡市葵区東静岡 1-3-76
JR 東静岡北口すぐ・静鉄長沼駅から徒歩約4分
※駐車場あり(有料)



【占部史人 Fumito Urabe】

1984年愛知県西尾市生まれ。静岡大学講師。拾い集めた素材を用いて神話や考古学などを題材に、広大な時空の旅を想起させるインスタレーションを展開している。

- 2021「いのちの移ろい展」碧南市藤井達吉現代美術館(愛知)
- 2020「めぐりアート静岡 2020」(静岡)
- 2018「水と土の芸術祭 2018」(新潟)
- 2014 個展「7つの夜の海」愛知県美術館(愛知)
- 2013「シャルジャ・ビエンナーレ 11」Arts and Heritage Area(アラブ首長国連邦)

【福宮杏悟 Kyogo Fukumiya】

2000年愛媛県松山市生まれ。静岡大学教育学部在学中(美術教育専修)。占部ゼミ所属。愛媛の温暖な海の近くで育ち、幼い頃から釣りに親しむ。海の記憶や、自然の中での体験から、あるがままの生命に寄り添い、生命と響き合う造形を試みる。

- ・体調のすぐれない場合はご来場をお控えください。
- ・ご来場時は必ずマスクをご着用ください。
- ・新型コロナウイルスの感染状況により、一部または全部の内容を中止する場合があります。

《協力》静岡大学地域創造学環

地域創造学環
SCHOOL OF REGIONAL DEVELOPMENT